



まちづくり活動支援

平成28年度 中川運河助成 ARToC10

アートプログラム実施報告

中川運河助成ARToC10は平成25年度から実施しており、平成28年度に実施された事業を紹介します。
※ARToC10についての詳細はP.9下段「中川運河助成ARToC10とは」をご覧ください。

N-mark (エヌ・マーク)

limicoline Art project (リミコライン・アートプロジェクト)
—水辺に生息するアート—

アートをととして「中川運河の気づき」を共有し、人のつながりや運河の環境を整えていくことを目指し中川運河で唯一屋上から運河を見渡せる空き建物を再生してワークショップや作品展示、フィールドワークなど、常にアートに触れられるオープンスタジオ「中川運河アート&リサーチラボ」を展開しました。

(主な事業内容)

- ・中川運河AIRオープンスタジオ
- ・造船所プロジェクト—運河に何を浮かべるか?
- ・中川運河芸術散歩
- など20プロジェクト 延べ67日



画像は平成28年度事業より

高山葉子×ナオヤスダ

航跡図—artery of sound—

中川運河周辺の地域に在住している子どもたちと共に制作する、170艘の「舩(はしけ)」を運河上に浮かべる「水上インスタレーション」や、それらを借景として松重閘門の閘室に舞台をたち上げ、映像とサウンドパフォーマンスによる舞台公演を実施し、アートの力によって運河に新たな「航跡図」を描くというものです。

実施には、広見小学校・露橋小学校、広見学区区政協力委員会・露橋学区区政協力委員会、地元の企業、市民から多大な協力がありました。

(事業内容)

- ・「舩」制作ワークショップ:平成28年10月1日
- ・パフォーマンス公演・水上インスタレーション展示:平成28年11月19日・20日



画像は平成28年度事業より



画像は平成28年度事業より(撮影:大洞博靖)

ピエールミロワール

月灯りの移動劇場

中川運河沿いの歴史建造物から着想を得て、過去、現代、未来へと繋げていく建築をデザインコンセプトとした、誰もがワクワクする移動式テント劇場「月灯りの移動劇場」を制作し、中川運河での思い出を題材としたミニダンスパフォーマンス「CANAL MEMORY」や、大人と子供が一緒に制作する「木のおもちゃワークショップ」を実施します。

(事業内容)

- ・月明かりの移動劇場をみんなで組み立てよう
:平成28年9月17日
- ・木のおもちゃを作るワークショップ
:平成28年9月17日
- ・月灯りの野外劇場で子供たちとともに音楽とダンスが織りなす「CANAL MEMORY」
:平成28年9月19日



画像は平成28年度事業より

平成29年度 中川運河助成 ARToC10 選考結果

平成29年度の助成対象について2月4日(土)に選考会を開催いたしました。

応募が7件あり、3件の提案が選ばれました。

提案された事業の実施については、中川運河助成facebookやTwitter等で発信する予定です。(facebook・twitter@ARToC10)

Filmusic in 中川運河(フィルミュージック イン ナカガワウンガ)・秋

有限会社シネマスコール

中川運河の「秋」の魅力を盛り込んだ3本の短編映画を制作し、近隣市民から他県の人々にまで中川運河の魅力を再発見・認識してもらうことを目的とします。

中川区民をはじめ、名古屋市民のエキストラへの参加を積極的に求め、市民参加型の映画づくりを行うとともに、地元の企業や団体の協力を得て、中川運河への愛着の醸成と地域発展への意識向上を図ります。また制作した作品で上映会を実施します。



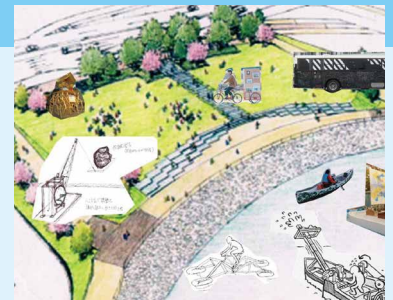
画像は平成27年度上映のチラシ

中川運河リミコライン・アートプロジェクト

N-mark(エヌ・マーク)

これまで中川運河東支線に隣接する空き物件を拠点として地域に定着した活動を行った実績をもとに、今回は活動範囲の広がりを目指します。

まち歩きイベントによる、これまでアートに興味を持たなかった層へのアプローチのほか、積極的に水辺にアプローチした作品を設置して、中川運河でしかできない表現を試みるなど、水辺活用の広がりモデルケースを作っていくことで、今後のさらなる水辺活用や賑わいのきっかけとなることをねらいとします。



画像は事業イメージ

(仮)月灯りの移動劇場 「アイウォーラお婆さんの家」と「月灯りの秘密基地」

月灯りの移動劇場

かつて物流の中継点として多くの資材や物資を運んだ中川運河と旧国鉄笹島貨物駅跡地の歴史をモチーフに3つの事業を展開し、利便性と引き換えに失われゆくものがあることを「既存の中川運河の景観」と「古い倉庫」、「古材をアップサイクルした芸術作品」、「ささしまライブ24」などのキーワードをもとに制作した芸術作品を通じて、観客に当事者意識を抱いてもらうことをねらいとします。



画像は平成28年度事業

中川運河助成ARToC10とは(正式名称:中川運河再生文化芸術活動助成事業)

名古屋都市センターは、中川運河を舞台とする市民交流や創造活動が継続的に行われるよう支援するため、中川運河「にぎわいゾーン」の魅力向上につながる現代アートへ助成しています。この助成事業は、「中川運河再生計画」(平成24年10月名古屋市・名古屋港管理組合策定)の趣旨に賛同されたリンナイ株式会社からの寄附を活用しています。



SNSでの情報配信

◆メールマガジン「まち活サポートネット」

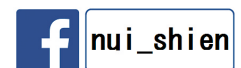
名古屋でまちづくり活動をされている団体から寄せられた情報や名古屋都市センターからの情報などをお届けします。QRコードを読み取り、空メールを送信後、利用規約に同意のうえ、ご登録ください。

【QRコード】



◆まちづくり活動支援 Facebook

まちづくり活動団体のイベント情報や名古屋都市センターからの情報などをお届けします。



◆中川運河助成 ARToC10 Facebook・Twitter

中川運河の魅力向上につながる現代アートへの助成「中川運河助成ARToC10」の最新情報を見ることができます。

